

【ねがいましては】

第30号

共和珠算塾 新浜
平成2年12月 1日

「期待」 しそぎは？

もう10年ほど前になるでしょうか。ある居酒屋で耳にした話です。年齢は40歳中ごろといった感じの方で、呉服の卸しの仕事をなさっているということです。「私はあまり人には期待はしないんです。特に借金なんかね。」

その方には若いころ無二の親友がいらして、ある日その友人が「お金を貸してほしい」とせがんできたのだそうです。かなりの額だったそうです。その方はさんざん駆けまわってそのお金を作り、二人の友情は益々無深まるばかりのようだった・・・が、その友人はそれきり姿を見せなかつたそうです。

その方の怒りは並ではないのはあたりまえです。がある日、海を目の前にしたとき「なんて俺はバカなんだろう。こんなちっぽけなことで。あのお金は彼にあげたんだ。」と、思ったとき、今までの怒りはどこかへ消えたそうです。

それからまた長い年月がたち、ある日ばったりとその友人に会つたそうです。その時、穏やかな気持ちでいられたことに、その方は「大きな勉強をしました。そのことがなければ、今の私はいませんよ。」

当時の私にはかなり響いたのでしょう。

子どもたちはどうしても期待されがちです。この子はこういう子に育てよう。私はあまり出来が良くなかったから、この子だけは、お父さんに似てほしくないわ・・・この子だけ、この子だけ。

この子に期待する夢はぐるぐる駆けめぐる。

ある子は小3から進学塾と親に徹底した管理教育を施されました。その子はみごと受験に勝利をおさめたそうです。が、ふと気がつくと、中3になりながらも、まだ母親に「トイレ行ってきてもいい？」という許可を受けるのだそうです。親もそれがどういうことなのか、気がつかずにいます。「受験」という勝利のためにかなりの精神的代償をはらつたわけです。子どもたちが一番持つべきもの「明るさ」。その裏にはのびのびとした精神が働いています。

おかあさんの手

おかあさんの手
ゴツゴツしている

男の人の手みたい
さわったら カサカサや

いつもはたらいているからやなあ

おかあさんの手
カサカサでも
わたしは大すきや

☆12月の予定

- | | |
|----------|--|
| 4日 (火) | 検定試験合格発表 |
| 25日 (火) | クリスマス会とシール交換 この日よりお休み (学習科は26日より)
くわしいことはべつにおてがみをあげます |
| 新年?日 | アイススケートはつすべり しけんをするまえにおもいきりすべつておこう
くわしいことはおてがみをあげます |
| 新年8日 (火) | お正月ちゅうせん会・・この日より授業がはじまります
学習科は9日よりはじまります |